

アスクル、みずほ銀行と「Mizuho Eco Finance」 融資契約を締結

～事業と一体化したサステナビリティ経営の推進を評価～

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡 晃、以下「アスクル」)はこのたび、株式会社みずほ銀行(以下「みずほ銀行」)と環境評価融資商品「Mizuho Eco Finance(みずほエコファイナンス)」の融資契約を締結しました。

「Mizuho Eco Finance」は、脱炭素社会への移行に向けた企業の取り組みを支援することを目的に、みずほ銀行が提供する環境評価融資商品です。みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が開発した環境評価モデルに基づき、環境配慮に関する情報開示等の観点から企業の取り組みや指数がスコアリングされ、一定以上の評価を獲得した企業に対し融資が行われるものです。

アスクルは持続可能な社会の実現に向け、お客様、社会、そして地球環境にとって最も効率的で環境に配慮した流通プラットフォーム(エコプラットフォーム)の実現を目指し、事業の全領域において、ステークホルダーを巻き込んだ取り組みを進めています。また、マテリアリティを特定し、事業と一体化した取り組みでサステナビリティ経営を推進しています。

今回は中でも、2019 年・TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同表明、2024 年・国際的なイニシアチブである SBT(Science Based Targets)よりネットゼロ認定を取得するなど、脱炭素社会に向け積極的に取り組みを推進している点などが評価され、契約締結に至りました。

アスクルは今後も「エシカル e コマース」として、事業活動を通じ環境課題、社会課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<参考>

◇アスクルが目指す環境経営

<https://askul.disclosure.site/ja/themes/90>

◇アスクルのマテリアリティ

<https://askul.disclosure.site/ja/themes/167>

◇統合報告書「ASKUL Report 2024」

https://www.askul.co.jp/corp/assets/pdf/ir_2024j.pdf

※本リリースに掲載の情報は発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。